



「第14回 日本 TRIZ シンポジウム 2018」の一般発表の募集について

2018年2月19日

NPO法人 日本 TRIZ 協会

第14回 日本 TRIZ シンポジウム 2018

シンポジウム実行委員会

創造的な技術革新の技法「TRIZ」について広く発表・討論・交流することを目的に、NPO法人日本TRIZ協会主催で第14回 日本 TRIZ シンポジウム 2018 を開催いたします。つきましては、一般発表を下記のように公募いたしますので、どうぞ積極的にご応募くださいますようお願いいたします。

[注: 青字の部分は、昨年度のやり方から変えている部分、または特記部分です。ご注意ください。]

目次

1. 第14回 日本 TRIZ シンポジウム 2018 の概要
2. 一般発表（オーラル発表とポスター発表）の募集テーマ
3. 一般発表の申込み手続きについて（オーラル発表とポスター発表ともに、すべて共通）
申込みの際に提出すべきもの、発表に関する著作権の扱い、発表申込みの提出
4. プログラムの決定と著者への通知
5. 発表の形態と論文集等の作成の計画について（最終原稿提出のための予備知識）
オーラル発表の実施形態、ポスター発表の実施形態、Proceedings（論文集）
6. 最終原稿の提出について
オーラル/ポスター発表の場合、最終原稿の提出方法と締め切り
7. シンポジウム当日の発表スライドとポスタースライドについて
オーラル発表の場合、ポスター発表の場合
8. 問い合わせ先

1. 第14回 日本 TRIZ シンポジウム 2018 の概要

日時： 2018年9月13日（木）～14日（金）（2日間）

会場： 中野サンプラザ

主催： NPO 法人 日本 TRIZ 協会

目的： 創造的な技術革新の技法「TRIZ」とその関連分野での発表・討論・交流の場を提供する。
TRIZ に関し、その技術レベルと普及・推進・適用の方法の向上に資する。
日本と世界の TRIZ 関係者の交流を図り、TRIZ の理解と普及を促進する。

ねらい： 発表および参加を広く公募し、公開の会とする。
TRIZ のより深く広い理解を醸成するとともに企業や大学などにおける実践を推進する。
特に、中小企業を含めた企業ユーザの底辺を広げ、また、学校教育などへの導入を図る。
会期中に NPO 法人 日本TRIZ協会の総会を開催する。

重点テーマ： 主題 「TRIZ で夢を実現しよう！」
Realize your Dream with TRIZ!

公式言語： 日本語および英語

発表者の提出した和文または英文のスライドを投影/掲出する。

英文または和文のスライドも提出された場合にはそれも並行して投影/掲出する。

上記が提出されなかった場合には翻訳ソフトをベースとした翻訳を代用する。

その際、翻訳結果が原文よりも長くなった場合には一部割愛することがある。

発表、討論ともに通訳サポートは行わない。

資料は概要集（日本人向けと海外参加者向け）と USB メモリ論文集（和・英両方）を
全員に配布する。紙ベースの論文集は作成しない。

プログラム構成骨子：

1日目：

チュートリアル（午前）

特別講演、一般発表（オーラル）、夕食&交流会（午後）

2日目：

日本 TRIZ 協会総会（朝）

基調講演、一般発表（ポスター紹介）、集合写真撮影（午前）

一般発表（ポスターとオーラル）（午後）

第14回 日本TRIZシンポジウム 2018 プログラムの骨子 (計画)

2018.2.19 第1次公表プログラム

	1日目 9/13 (木)	2日目 9/14(金)
		9:00 日本TRIZ協会 総会
午前	10:00 チュートリアル	10:00 基調講演
	昼食休憩	11:10 一般発表 (ポスター紹介)
午後	12:50 事務連絡 13:00 開会挨拶 13:20 特別講演	12:00 集合写真撮影 昼食休憩
	14:30 一般発表 (オーラル)	13:00 一般発表 (ポスター)
	15:00 一般発表 (オーラル)	14:30 一般発表 (オーラル)
	15:30 一般発表 (オーラル)	15:00 一般発表 (オーラル)
	16:00 一般発表 (オーラル)	15:30 一般発表 (オーラル)
	16:30 一般発表 (オーラル)	16:00 一般発表 (オーラル)
	17:00 一般発表 (オーラル)	16:30 一般発表 (オーラル)
	18:00 夕食 & 交流会	17:00 開会挨拶

一般発表の発表形態 (予定) :

オーラル: 基本発表時間: 25分 (討論7分を含む)
通常、ダブルトラック (2会場並行)

ポスター紹介: 総発表時間: 50分程度
シングルトラック
各ポスター発表の概要をスライド投影して紹介する。

ポスター: 掲示会場内のコーナーに分散して、複数同時並行で掲示・発表する。
比較的少人数での自由な質疑応答が可能。
ポスター発表の時間は80分程度。全日程中、ポスターを掲出する予定。

2. 一般発表（オーラル発表とポスター発表）の募集テーマ

上記のシンポジウムの趣旨に沿った、オリジナルな研究・活動報告を募集します。

主要テーマ：

- 商品企画のための TRIZ の活用
- 問題解決のための TRIZ の活用
- リスク回避のための TRIZ の活用
- ソフトウェア、IT における TRIZ の活用
- ビジネス分野における TRIZ の活用
- 知的財産の創造・強化のための TRIZ の活用
- 企業における TRIZ の推進、マネジャのための TRIZ 理解
- 学校・大学・社会における TRIZ をベースにした教育
- その他

テーマ範囲：下記一覧のような範囲で広く捉えてください。

技法など	適用目的	適用分野	適用場面
TRIZ	技術予測・市場予測	一般技術分野	大学等教育
TRIZ からの派生・発展	問題抽出	機械・機構系	技術者教育
創造性技法	商品企画開発	電気・電子系	普及
アイデア生成法	技術課題の解決	システム系	啓蒙
問題抽出技法	技術コンセプトの生成	ソフトウェア系	適用試行
問題解決技法	品質向上	材料系	グループ活動
将来予測技法	コスト削減・納期短縮	化学系	実地適用
技術革新技法・運動	エコシステム	生物系	推進組織化
技術管理、知識管理	知財発掘	など	推進活動
研究開発技法	知財強化		R&D 全般
知財生成・知財分析	ビジネスモデルの創成	ビジネス系	管理者教育
技術の実装技法	ビジネス・技術戦略	社会問題	中小企業普及
問題解決支援システム	技法の検証	身近な問題	初等中等教育
日本独自の諸方法	創造性教育・訓練	教育	
など	など	など	など

3. 一般発表の申込み手続きについて（オーラル発表とポスター発表に共通）

3.1 申込みに際して提出すべきもの

①申込み電子メール: 件名に「発表申込み」と明記し、下記の2~3件の書式を添付ください。

②発表申込書: 書式 A を使用。MS Word 形式。テンプレートを協会のウェブサイトに掲載。
発表題目、著者（所属）、著者代表連絡先、関連テーマ分野、キーワード、
希望発表形態（オーラル限定 | オーラル優先 | ポスター優先 | ポスター限定）
著作権の譲渡に関する確認事項

③和文 and/or 英文の概要: 書式 B and/or C を使用。MS Word 形式。
テンプレートを協会のウェブサイトに掲載。
発表題目、著者（所属）（共著者を含む）、概要、説明文（図表も可）
（注: 発表題目・著者・概要は事前プログラムに掲載します。
説明文はプログラムの審査・編成に用い、シンポジウム開催時に公表します。
和英両方提出する場合には、説明文は片方のみでも構いません。）

3.2 発表に関する著作権の扱いについて

前提事項: 発表申込みおよび発表資料の提出時点において発表者は
その内容が他者の著作権などを侵害していないことを確認し、
また、必要に応じて組織内の発表許可などを得ているものとします。

発表資料: 事前に提出された発表資料を唯一の発表用並びに予稿集掲載原稿とします。
また、発表当日に、資料として提出されたスライドを差し替えることは禁止します。

発表時期: 発表資料の公表時期はシンポジウム初日（2018年9月13日）とします。

著作権: 発表資料の著作権は著作者本人にあるものとします。
従って、著者は TRIZ シンポジウムの後に、ご自身が適当と考える方法で
他に投稿・発表などできます。

著作権の譲渡: 発表者は、以下の事項に対して「NPO 法人日本 TRIZ 協会」に
非排他的な権利を譲渡するものとします。

- ・ 「第14回 日本 TRIZ シンポジウム 2018」で当日配布する資料に収録すること
- ・ 後日、上記資料の複製を配布・販売すること
- ・ 後日、日本 TRIZ 協会が適切と考えるウェブサイト（複数可）で公開または限定開示すること
- ・ 発表状況の（主催者による）スナップ写真撮影を許可し、それらを
日本 TRIZ 協会が適切と考える方法で掲載、配布し、案内資料などに使用すること

3.3 発表申込みの提出

提出・問い合わせ先: シンポジウム実行委員会
送付方法: 電子メールで文書添付 (MS Word 形式)
宛て先: 電子メールアドレス: 14_sympo@triz-japan.org
申込み締め切り: 2018年5月10日 (木)

3.4 発表時の要件

一般発表者 (海外からの参加者を除く) は発表時点において日本 TRIZ 協会の会員であることを要する。

4. プログラムの決定と著者への通知

採否決定: 発表の採否とプログラム案は、

6月上旬に日本TRIZ協会のプログラム編成会議および運営会議にて決定します。

オーラル発表とポスター発表の別は、申込み時の希望を考慮の上、

プログラム編成会議および運営会議にて調整・決定します。

申込み時の希望発表形態とは異なる場合もあり得ますが、ご了承ください。

発表申込みについて、不採用の判断をする場合もあります。

著者への通知: 発表申込みの受理は、受け付け後、原則3日以内に個別に連絡します。

メール送付から3日過ぎてもシンポジウム実行委員会から返信メールが届かない場合には、お手数ですが再送付ください。

発表の採否およびプログラム案を、6月9日頃に通知します。

採用された著者は指示に従って、原稿を次項のようにご準備ください。

プログラムの発表: 編成したプログラム案を日本TRIZ協会のウェブサイト他に掲載し、参加者募集を行います(6月11日頃)。

この段階において、発表の題名、著者(所属)、概要を公表します。

(概要に付随する説明文の部分は、この段階では公表しません)

5. 発表の形態と論文集等の作成の計画について（最終原稿提出のための予備知識）

5.1 オーラル発表の実施形態

- ・ 発表は日本語または英語
- ・ 発表言語のスライドを主画面に投影します
- ・ もう一方の言語のスライドも提出されている場合にはそれを同時に副画面に投影します
上記が提出されていない場合には翻訳ソフトをベースとした翻訳を同時に副画面に投影します
その際、翻訳結果が原文よりも長くなった場合には一部割愛することがあります
発表言語のスライドは発表者が操作し、もう一方の言語のスライドは追隨して事務局が操作します
- ・ 投影されるスライドは事前に提出されたものを使用し、発表当日の差し替えは禁止します。
（当日のスライドデータの差し替え、もしくは持ち込み PC の接続替えの時間、日英同時投影が実現しないなど、運営上に問題が生ずるためです。）
- ・ 発表および討論の通訳は行いません
- ・ 発表は全体で 25 分（討論 7 分を含む）とします（発表数に対応するため変わる場合があります）
- ・ ダブルトラック（2 会場並行）。[発表数により 1 会場単独、3 会場並行にする場合もあり得ます]

5.2 ポスター発表の実施形態

(a) ポスターの掲出作業

- ・ 各自に模造紙 4 枚（和文用と英文用各 2 枚、縦型で横に並べる）が与えられます
これを会場内の指定された壁面または移動式パネルなどに貼り出してもらいます
- ・ 一方の言語しか提出されていない場合には翻訳ソフトをベースとした翻訳を協会が用意します
その際、翻訳結果が原文よりも長くなった場合には一部割愛することがあります
- ・ この模造紙スペースに、各自で印刷出力して持参したスライドを貼り出してもらいます
A4（または B4）のスライドを模造紙 1 枚あたり 8 枚貼れます。字は十分大きくしてください。
- ・ 掲出作業は原則として各自が初日の午前中に行い、シンポジウム終了時まで掲出しておきます
模造紙、糊、セロテープ、マジックインクなどは事務局で用意します

(b) ポスター紹介

- ・ 各ポスター発表者は、掲出したスライド（の一部）を投影して発表内容の概要を説明します

(c) ポスターセッションでの発表と討論

- ・ 発表者は、各自指定された壁面/場所でポスターの説明を行います（複数件同時並行）
- ・ 参加者は、それぞれに選択したポスターを順次訪問できます
- ・ 全体の時間は 80 分程度を予定しています
- ・ 初回の説明と討論を 20 分で一斉に打ち切り、2 回目の説明を開始します
それ以降は臨機応変に発表と討論を随時行います（この詳細は今後変更することがあり得ます）
- ・ 比較的少人数でのインタラクティブな発表と討論を行うことが趣旨です

5.3 Proceedings（論文集）（当日の印刷配布物、デジタル版（USB メモリ）配布物、後日のウェブ掲載）

(1) 概要印刷物（当日全員に配布）： 各発表の概要と説明文

- 日本人向け： 和文が有るものについては和文、英文しか無いものについては英文
- 外国人向け： 英文が有るものについては英文、和文しか無いものについては和文

(2) デジタル版 (USB メモリ) 論文集 (当日全員配布) : 各発表の全提出物 [*印は有る場合のみ]
概要、説明文*、スライド、論文* [注: すべて PDF 形式、改変禁止、コピー禁止です]

(3) ウェブ掲載 (後日実施) :

掲載候補は上記(2)の全体とします (PDF 形式)

日本 TRIZ 協会が適当と考えるウェブサイトに掲載します

掲載の時期はシンポジウム終了後です

6. 最終原稿の提出について [注: 詳細は 6 月に連絡します。一部変更の可能性あります。]

6 月 9 日 (予定) のプログラム公表の後、以下の要領にて最終原稿を提出してください。

最終原稿の提出物はすべて 5.3(2)に記載のようにデジタル版論文集 (Proceedings) に収録します。

6.1 最終原稿の提出物

①提出電子メール (必須) :

「最終原稿提出」の趣旨を明記し、下記必要ファイルを添付してください。

②最終原稿提出書 (必須) :

書式 A2 を使用してください

MS Word 形式、テンプレートを協会のウェブサイトに掲載します

発表題目、著者 (所属)、著者代表連絡先

著作権の譲渡に関する確認事項、送付ファイル一覧

③和文 and/or 英文の概要 (発表申し込み時点から追加/変更がある場合のみ) :

書式 B and/or C を使用してください

MS Word 形式、テンプレートを協会のウェブサイトに掲載します

発表題目、著者 (所属) (共著者を含む)、概要、説明文 (図表も可)

④和文 and/or 英文の発表スライド (必須) :

書式指定はありません

MS PowerPoint 形式

デジタル版 (USB メモリ) 論文集作成に使用します

当日、発表用の協会パソコンに入れておきます

一言語のみ提出された場合には翻訳ソフトをベースとした翻訳を協会で作成します

その際、翻訳結果が原文よりも長くなった場合には一部割愛することがあります

⑤和文 and/or 英文の論文 (任意) :

書式 D and/or E を使用してください

MS Word 形式、テンプレートを協会のウェブサイトに掲載します

6.2 最終原稿の提出方法と締め切り

提出・問い合わせ先: シンポジウム実行委員会

送付方法: 電子メールに文書ファイルを添付 (MS Word または MS PowerPoint 形式)

電子メールアドレス: 14_sympto@triz-japan.org

締め切り: 7月13日(金)

参加登録: 発表者の参加登録の締め切り日も7月13日(金)です。

注意: 下記何れの場合にも、その発表申込みが取り下げられたものと判断して当該発表をプログラムから削除し、Proceedings への掲載を取りやめることがありますので、ご承知おきください:

- ・最終原稿が締め切り日までに提出されなかった場合
- ・参加登録が締め切り日までに行われなかった場合
- ・発表当日に発表者が出席または発表できないことが明らかになった場合

7. シンポジウム当日の発表スライドとポスタースライドについて

7.1 オーラル発表

- ・発表言語のスライド投影用ともう一方の言語のスライド投影用のパソコンを協会で用意します。
~~ただし、発表者がパソコンを持参してそれをスライド投影用に使うことも可能です。~~
~~発表に使う PowerPoint ファイルを USB メモリなどをご持参ください。~~
協会で用意したパソコンには、著者が論文集作成用に提出したファイルを入れておきます。
協会で用意したパソコンの内容は変更しないでください。
~~協会で用意したパソコンに USB メモリ等を差し込んでその内容を投影することも可能です。~~

7.2 ポスター発表

ポスター紹介用のスライド資料

- ・紹介言語のスライド投影用ともう一方の言語のスライド投影用のパソコンを協会で用意します。
協会で用意したパソコンには、著者が論文集作成用に提出したファイルを入れておきます。

ポスター掲出用のプリント資料

- ・掲出するスライドを印刷出力したものを必ず持参してください。[要注意]
- ・印刷出力資料の準備とポスター掲出の作業については、5.2 節を参照してください。

8. 連絡先

プログラムの発表関係、シンポジウム参加申込み: 14_sympto@triz-japan.org

9. 参照ウェブサイト

日本 TRIZ 協会ウェブサイト: <http://www.triz-japan.org/>

以上